



Subaru

男声合唱団

ニュース№568

16. 8. 4

「わしらの朝は海からはじまる」に寄せて 一団員からの熱心なレッスンへの思い!

□8月21日(日)「市内南部合唱発表会」、9月18日(日)「大阪のうたごえ合唱発表会」そして11月の「日本のうたごえ in 愛媛」での「合唱発表会」に向けて、合発曲「わしらの朝は海からはじまる」と「白樺」は最終のレッスン段階(暗譜)に入ってきました。熱心なバリトンパートのメンバーの一人から、「わしらの朝は海からはじまる」について、BRの最初の漁師のかけ声「イヨシドットオ」(単調ながら音程の不規則な並び)をどう覚えて歌うのか?について、熱心な思いが伝わるメールが「一口メモ」を添えて送られてきました。

伊藤技術部長から、その Question に対して、分かり易い Ansew が返ってきています。

そのやり取りも参考になると思いますので、ご本人達の了解を得て、「昴ニュース」特別号の形で載せました。

(1) 2016年7月31日

昴・各位さま

いつも御世話になっています。今夜は特に蒸し暑いですね。

先日7/29のレッスン末廣亜矢子レッスンに参加して、感じた事・思ったことを、私なりに書いてみました。

最初の「イヨシドット」aa ab/ ab aa'/

aa ba/ ab aa'/

aa ba'/ b'c a'a/

ba'+ヨォー は暗記するしか無いですかね?

16.7.31 Br 山本

男声合唱団「昴」2016年合唱発表曲(バリトン用)

(7/29末廣亜矢子教室を受講して)

<わしらの朝は海からはじまる(浪速の漁師のオッサンになりきる)>

(f 力強く、T1T2 船頭のマロディーを聞きながら、手漕船で櫓を漕ぎ波を乗切る様。飽きずにしっかりと。)

(p)

イヨシドット《aaab abaa' aaba abaa' aaba' b'ca'a ba'》ヨ!

(f) Wa わしらノ海があるー

(mp) wu-> wu-> wu-> wu-> wu-> wu-> (捨てる!)

(状況一変して明るく)

(f) わしらノ朝はー 太陽ーいよりモ (切る) 先にー は・じ・ま・るーう (切る)

(f) お・おー いゆくぞーわしらノ U海エー お・おー いゆくぞー わしらノ U海エー

(mp br・solo 前へ) Si 潮風を一 ki 切っていゆけばー

(f) わしらノ朝は一 U海から始まるー わしらノ U海は一 A朝から始まるー

(mp br・solo 前へ)Hi 引き上げる U魚は、海から A揚がる U魚は、どれも Ha 弾ける
I活きのいいやつー

(mf) Fu 船の He 舳先は一 沖へーー 沖へ

(f) お・おー いゆくぞー わしらノ仕事場ー U魚ノ湧く U海へー 年がら年中ー
わしらノ朝は一 太陽ーいよりモ (切る) 先にーは・じ・ま・るーう (切る)

(mf) Fu 深い海ー Fu 深い海ノ底から Uwo 魚ノ湧く U海ノ底からーあ

(f) わしらノ A朝は 始まるー! お・オー!

<白 樺>

一、(ゆっくりねっとり)

(mp) 乙女の髪に Fu 触れー その眼 Za 差し追いー

Iyo 夜もすがら Za ざわめくー (続けて) 葉擦れの U 歌聴くー

(f) 白樺ー (mp 気持強く)白樺ー 何を Wa 我に Tu 告げるー

二、(さらり) 白樺の U 歌は一 かの Ha 春の歌かー

忘れえぬ戦いのー (続けて) 厳し思い出の U 歌かー

(f) 白樺ー (mp 気持強く)白樺ー 何を Wa 我に Tu 告げるー

四、(やさしく) モスクワ郊外の白樺ー 夜もすがら目覚めー

パリのマロニエ眠らずー (続けて) 葉擦れの歌聴くー

(f) 白樺ー (mp 気持強く)白樺ー 何を Wa 我に Tu 告げるー

(2) 技術部長からのメール

(CC:本並先生、三村様へ 山本力さん作ファイルを添付しています。)

山本様

うまくまとめてもらいありがとうございます。

子音や母音頭をしっかりと発語すべき部分がよくわかりますね。

亜矢子レッスンに出来なかった団員にも理解してもらうために、印刷して配布、
若しくは、ニュースに掲載してもらってはどうかと思います。

「イヨツシドット」と書かれているところは、ヨの後を伸ばして、「イヨーツシドット」と
してもらった方が付点 8 分の「ヨ」と 16 分の「シ」の長さの違いをより意識できると思います。

バス・バリトンの「イヨーツシドット」は、音程が変化しない部分を基本にして、
その部分の音程レベルをきちっと維持すること、そして、音程が変わる音符は、上下とも
それぞれに、しっかりと音高をピタッと届かせる、この両方が必要ですね。

手漕ぎ船に立って櫂をこぎながら、海の波に揺られている状態をイメージしてはどうでしょうか？船を持ち上げる波を乗り切っていくとき、船の高さが変化していきます。その様子をイメージしながら、波の高みに乗り上げていく一瞬や、波の底へ沈む一瞬に依じて、音程が変わっていく。平穏な波、高い波、それほど高くない波、深く沈み込む波の底、押し寄せる波のスピードも一定ではありません。ゆっくりと動く波、急変する波、小さく動く波、波の高さ(低さ)や速さは刻々と変化していきます。

T1・T2 の船頭が歌うメロディーを聞きながら、船頭達を乗せている船になった気持ちで、船頭達を下から見上げている 波に揺れ動く船体が、BS・BR パートだと。

「イヨーツドット」のリズムパターンは全部同じですが、単純なリズムの繰り返しではなく、音程が変化する音符の長さは、微妙に変化してもよい。ブレスの一瞬は、海の波に揺れ動く船体になったつもりで、波の動きに合わせて体も動き、その動きを「イヨーツドット」と歌うと思えば、自然なブレスができてしまうのではないか、と思います。

亜矢子先生は、「P 飽きずにしっかりと」歌うようにと注文されましたが、上記したような何か具体的なイメージをもって、「イヨーツドット」を歌うようにすれば、飽きることはないと思っています。

パターンの変化は、何度も歌い聞き、T1・T2 のメロディーを聴くのと一緒に覚えてしまうしかないのではないかと思います。／伊藤

(3) 山本さんからの返事

「昴・伊藤さん、広報部三村さん、吉川さん、本並先生、各位さまいつも御世話になっています。昴バリトン山本です。きょうも暑いですね。

伊藤さん。御指導ありがとうございます。

「イヨーツドット」表現と、その覚え方、特に「①手漕ぎ船で櫂を漕ぎながら波を乗切る様。

②船頭 (T1・T2) のメロディーを聞きながら。」は非常に分かりやすいです。

丸暗記しかないか？とと思っていましたので、今後のレッスンにおおいに参考になります。ありがとうございました。

伊藤さんに指摘されたところを私なりに修正(添付資料)しましたが、今後、仮に印刷物など配布されるのでしたらまだまだ表現や記載方法など不十分だと思っています。(注:1頁目の資料は「修正」分です。編集子)

お気づきの事がありましたら、変更・修正したいと思いますので、指導してくださるよう、よろしく願います。

16.8.2 Br・山本 力